平成21年1月19日

立教大学との産学連携協定に基づく「観光活性化プロジェクト」第一弾 『幸手まち歩きマップ ~ぶらって幸手~』の作成・配布について

武蔵野銀行(頭取 加藤喜久雄)では、立教大学(総長 大橋英五)との産学連携協定に基づく取組みとして、『幸手まち歩きマップ ~ぶらって幸手~』を作成、平成21年1月20日(火)より、当行本支店のほか、埼玉県庁、幸手市役所、幸手市商工会、東武鉄道の県内各駅におきまして配布を開始いたしますので、お知らせします。

当行では、平成19年7月、埼玉県の地域活性化に貢献することを目的に、立教大学と「産学連携にかかる業務連携・協力に関する協定書」を締結しました。同協定に基づく最初の活動として、観光学部との連携により、埼玉県の観光活性化プロジェクト『埼玉 地域交流フットパスプロジェクト』を立ち上げ、県東部地域における観光活性化に取組んでまいりましたが、このたび、『幸手まち歩きマップ ~ぶらって幸手~』が完成いたしました。

幸手市は、日光街道の6番目の宿場町として栄え、今でも特に「昭和」の面影を伝える懐かしい街並みが広がっている地域です。『ぶらって幸手』は、新たな観光の形として注目されている「まち歩き」を誘致するためのマップで、ブラブラと何気なく街を歩くことで、地元住民であっても、普段気づかない隠れた街の魅力を発見する楽しさを提供するものです。

今後は、『ぶらって幸手』を利用した「まち歩き会」の開催等を通して、地域で持続可能な観光活性化事業として、プロジェクトを地域へ引き継いでいきます。また、県東部地域の他市町でも幸手市同様のまち歩きプロジェクトを展開するほか、秩父地域での農山村体験型観光の創出にも取組み、県内全域での「域内交流」を促進し、埼玉県の観光活性化を図ってまいります。

以上



1. 『埼玉 地域交流フットパスプロジェクト』について

① 県東部地域の観光活性化

県東部における「まち歩きマップ」の作成等 街道沿いの古い商家等、地域で気付いていない 観光資源を発掘し、新たな観光スタイルとして 定着している「まち歩き」を誘致する。

② 秩父地域の観光活性化

秩父における交流型観光事業の創出

秩父地域と県南地域等の都市部との交流を軸 に、農山村体験等の交流型観光を創造する。

③ 埼玉県全域の観光活性化

県内の広域交流型観光事業の創出

- ・ ①②を通して、埼玉県の新たな観光 資源を発掘し、土地の魅力の再発見 や地域生活体験の機会を提供する。
- ・ 特に、県南地域を中心とした県内在 住者に対して、県外観光から県内観 光への誘致を推進し、埼玉県民の地 域間交流を促進する。



2. 『幸手まち歩きマップ ~ぶらって幸手~』について

特長	立教大学観光学部教授による学術的な意見を反映。
	・ 制作作業は、地域活性化に重要とされる「若者」「よそ者」等の観点から、立
	教大学の学生が中心となり実施。
	・ 学生がフィールドワークを行い、実際に何度も幸手市街を歩き、地域情報を収
	集し、掲載店舗や商品等を選定。
	・ 街を歩く人達をイメージし、様々な「まち歩きキャラクター」を創り、キャラ
	クター毎のお薦めコースを掲載した3種類のマップを作成。
種類及び 配布時期	D 歴史編『歴史を感じる街道筋』 1月20日(火)~ DOWNLOAD
	② 美食編『美の街、食の街 "SATTE"』 2月中旬~ DOWNLOAD
	③ 家族編『週末、家族幸手日和』 3月上旬~ DOWNLOAD
配布場所	・ 武蔵野銀行(全店、法人オフィス、住宅ローンセンター)
	· 埼玉県庁
	幸手市役所
	幸手市商工会
	東武鉄道(日光線・伊勢崎線・野田線の埼玉県内各駅、東上線志木駅)他
	、当行ホームページからもダウンロードできます。